

主体的・対話的に学びながら、自分の生活を見直し、
心身共に健康で安全な生活を実践していく児童の育成
ー生きる力を育む歯・口の健康づくりを通してー

富山県高岡市立古府小学校

学校教育目標「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」の下、学校保健目標「自分の生活を見直し、心身共に健康で安全な生活を送る児童を育てる」を目指し、家庭と連携しながら、学校教育活動全体を通じて健康教育を推進している。研究を進めるにあたり、三つの視点を設定し、教職員が一丸となって取り組んでいる。

友達と
家族と **みんなで歯っぴいになろう!**

児童の実態や発達の段階に応じた指導内容の工夫

6年間の継続した歯科保健教育の推進

●6年間の指導計画

- 1年 親子歯みがき教室
- 2年 歯みがき名人になろう
- 3年 むし歯になりにくいおやつとり方
- 4年 よく噛むことの大切さ
- 5年 全国小学生歯みがき大会
- 6年 病気の予防



学校歯科医と連携した歯みがき習慣の定着

- 時間の設定、場所の確保
- 指導方法等の共通理解

全校体制で歯・口の健康づくりに取り組むための校内体制の充実

- 研究組織の編成
- 目標値の設定
- 校内研修との関連付け

児童のアイデアを生かした主体的な児童会活動

- 各委員会(運営、運動、図書、給食・放送、福祉ボランティア、環境・美化)による取組

保健委員会主催の学校保健委員会

- 委員による話し合い活動
- 全校キャラクター募集
- 学校歯科医との連携



視点
1

視点
2

視点
3



児童会活動の活性化と児童の主体的な活動の在り方

中学校との連携

- 小中交流会「歯っぴい会議」

家庭や地域との連携の在り方

家庭への啓発と連携の充実

- 学校 HP、学校だより、学年だより、保健だより、給食だより等による情報発信

生活の中での習慣化

- 生活リズムチェックカードによる振り返りと改善

学校歯科医と協力して保護者への啓発を図る取組

- 1年「親子歯みがき教室」



- 学校保健委員会で学校歯科医に教わった「歯みがきの四つのポイント」
 - ① 食べたらみがく
 - ② えんぴつ持ち
 - ③ 1本20回
 - ④ 1本残らず順番に